

学校評価シート（学校関係者評価）

幼保連携型認定こども園みさとさくらの森 学校関係者評価委員会

日時 令和5年1月24日（火）10:30～

出席者 評価委員 保護者2人、園長、桜小学校校長

1. 基本事業計画・自己評価を受けて

- ・Ⅰ・Ⅱ→教職員の意見にも書かれている通り、子供たちひとりひとりの個性を見ながら、主体性を大切に伸び伸びと過ごせるように先生方が保育してくださっていると思う。
- ・Ⅵ→幼保どちらもクラスに関係なくすべての先生が挨拶をしてくださるのがとても素敵だと思う。⑥の項目がCになっているが、基本的に先生による対応の違いがないので、園としてのルールや方針が共有できているように感じており、園全体への信頼と安心感が持てている。
- ・教育方針は定期的に見直されていること、目標と方針が見やすい所に掲示されており、意識しながら保育に取り組まれているのが素晴らしいです。
- ・保育計画どの先生も子どものやりたい気持ちをうけとめ発展していくよう務めていると感じました。また、保育計画にとらわれず、遊びの状況に応じて変更していく柔軟さが素晴らしいです。
- ・運営管理の⑤と⑥は全職員がいつでも見れるよう場所の固定と把握をして頂きたいと思いました。
- ・“自己評価”ということもあり、謙虚な内容の記載には、先生方の向上心を感じました。コロナ禍における保育の中で、保護者との連携・情報発信や食育の充実に苦慮されている様子が伝わって来ましたが、園長先生を中心に報連相に基づく協力体制が構築されている点には安心感を覚えました。

2. 園内見学をしていたいて子ども達の様子について

- ・コロナ禍ではあるが、保育園では子供とふれあいながら（抱っこ・膝に乗せる等）保育をしてくださり、大変ありがたく思う。
- ・どのクラスでも笑顔が見られ、子供たちは安心してのびのび過ごしている様子だった。
- ・教室外で過ごす子供も何名か見られたが、先生が付いていて安心できた。職員室等、教室の他にも落ち着いて過ごせる場所があることはよいと思う。
- ・クラスまとまっでの活動中で劇あそびや絵本の読み聞かせをしていました。落ちついた中で保育が進められていて見学中終始穏やかでした。
- ・製作をするクラスでは、となりの席の子とお話ししながら、作り進め楽しむ様子が伝わってきました。
- ・どのクラスも落ちついて過ごしていました。
- ・保育士に見守られる中、各自が好きな遊びを楽しんでいて、まるで家で過ごしているような安心した雰囲気が感じられました。
- ・表情豊かで、かつ礼儀正しく声をかけて下さり、園の先生方の日頃の丁寧な御指導の様子を子ども達の様子から垣間見る気が致しました。

3. 園内見学をしていただいて環境について

- ・ 幼保どちらの棟も毎日掃除が十分にされていて、大変気持ちがよい。
- ・ 幼稚園棟の階段の足元の隙間が円筒状のスポンジで埋められていたり、クラスのドアで子供が手を挟まないようにブロックが貼られていたり、ケガを防ぐための細かな配慮が感じられた。
- ・ 保育園棟は冬になるとカーペットを敷いてくださり、心遣いを感じる。
- ・ 教室のドアやピアノのフタでの指づめ防止の対策がしてあり安心しました。
- ・ 職員室も、子どもが安心して過ごせる居場所の1つとして開放されていて、先生方が子どもを受け入れる様子も温かく感じました。
- ・ 絵本コーナーが淋しい雰囲気を感じました。絵本の冊数が少なくても、本を読みたくなるようなコーナづくりができれば良いと思いました。
- ・ すっきり片付いた清潔な保育室だと感じました。
- ・ 保護者にむけて掲示物がありました。在園児に発生している感染症のお知らせや、日頃の保育の様子が写真で見ることができました。親の安心につながる配慮だと思いました。
- ・ 見学した際は、コロナ禍でもあり、感染対策を徹底されている点に敬服しました。
- ・ 明るく広々した環境は整然と整えられていて、子どもが落ちついて過ごせる保育環境が整っていると思いました。
- ・ “自分自身も保育環境の一つと考え、意識して資質向上に努めた”という記載が自己評価の中にあり、それを読んだ時はハッとしました。まさに「教育は人なり」とはこのことだと思いました。

4. 今後園に期待すること

- ・ 自己評価にAがひとつもないことが気になったが、園全体としても個々の先生方としても、安心して子供を預けることができる保育を提供してくださっていると思う。認定こども園は貴重なので、今後も継続して安心できる保育をお願いしたい。
- ・ 幼稚園棟のお弁当を完食する子が少ないということに関して、苦手なメニューもひとくち食べるように先生も声かけしてくださっているようだが、無理強いはできないのでなかなか対応が難しいかと思う。家庭でも食育や好き嫌いを減らすように努力していきたい。
残す子があまりにも多いようであれば、委託業者の変更等も選択肢として検討してみてもどうかと思う。(幼稚園の子が土曜保育で保育園棟のお昼を食べた際に「とっても美味しかった！」と感動していた為、幼保で大きく異なるのだと感じた。委託給食だとなかなか難しい部分もあるかと思うが、今後幼稚園のお昼もより良くなると嬉しい。)
- ・ 徒歩、自転車利用の人の通用門が駐車場の門とは別になるよう改善して欲しいです。
- ・ コロナ禍での経験も大切にされながら、コロナ後の保育の一層充実に向け、少しずつ新しい形を探って頂ければと思います。